



3月号

神戸市立こうべ小学校

学校だより

### 「ありがとうございました！」

3月になり日差しは一段と明るくなりました。運動場で遊ぶ子供たちの声はいつそう大きくなったように感じます。寒中に耐えてきた桜の木々の芽も日ごとに膨らみ、次年度の入学式に咲くための準備をしているかのようです。

今年度は、コロナ禍の中、6月から学校が始まりました。当初、心配された学習内容の習得も履修できそうです。3月は、子供の伸びを感じる時期です。落ち着いて学習する姿、整然と清掃する姿、話をしっかりと聞く姿など、この1年の積み重ねてきた成果が見えます。一方で、次年度に向けて、学習の約束事は身につけているか、学校生活の規律は率先して守れているか、そして友達との関わりは順調だったかなど、個々の生活を振り返ることもしっかりとさせたいと思います。

6年生、145名は、卒業式の練習を始めます。卒業式は小学校生活6年間の総まとめであり、最後の授業としての発表の場です。呼びかけや歌はありませんが、一人ひとりが決意の言葉をしっかりと発表し、6年間の成果を発揮し、誇りを持って堂々と式に臨んでほしいと願っています。出来ることが増えて次の学年の準備を始める1年生から5年生までの子供たちと、新しい世界を目指して巣立っていく6年生、嬉しさと寂しさが交錯する3月です。

振り返ると、この1年コロナ禍であっても本校教育活動は多くの方々によって支えられてきました。PTAの行事の支援（ZOOM配信）、広報紙活動、読み聞かせ、スポーツ活動の支援、金曜日ののびのび広場をしてくださった地域の方々、授業支援をして頂いたボランティアや多くの大学生ボランティア、子供たちの登下校の安全を見守って下さった見守り隊、そして、温かく見守って頂いた保護者の皆様、すべての方々に心よりお礼を申し上げます。

「ありがとうございました！」

来年度も、子供たちの活気に満ちた学校、地域に開かれた学校をめざして職員一同邁進していきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

出逢い

関 洋子

あなたに出逢えてよかった  
しみじみとそうおもう  
あなたに出逢えてよかった

ありがとう  
ありがとう

すべてのふりかえる道が  
この道へ続いていたと思える日は  
こころが なんとでもくりかえす

ありがとう  
ありがとう